

<福島県知事賞>

## 全国をみんなの郷里に

会津若松ザベリオ学園中学校

3年 鈴木 梨々香

税の役割は、公共サービスや公共施設などで必要な多額の費用を国民がみんなで負担し合い、日々の生活をよりよくすることが例として挙げられます。

その税の中で、一番興味を惹かれたのは、最近注目されている、ふるさと納税です。

それは、言いかえれば、各自治体への寄附という形になるそうで、自分のふるさとだけでなく、他の県でもいいところに惹かれました。新しい自分のふるさとを見つけられるような気がして、とても楽しそうでした。それに税金の使い道を選択することができ、各自治体のために何を自分はこのお金で貢献できるのかをしっかりと自分の目で見て選び役に立てるのです。こうして、調べれば調べるほどに自分もふるさと納税をしてみたいと思いました。

また、ふるさと納税のおかげで助けられる自治体はとて多いと思います。私たちのふるさとである会津若松市も実施していて、納税すれば、お礼として、伝統の会津漆器やおいしい清酒などをお贈りしているようです。

私たちのまちは、鶴ヶ城などがあり、観光客や修学旅行生を時々みかけますが、まだまだだと私は思います。もっと会津が元気になれるように、ふるさと納税は、私たちのまちにとっても大切な存在になってくると思います。

このように、私たちが会津を守りたいように全国の人たちも自分のふるさとを守りたいと思う人が数多くいると思います。

それに、自分たちも大好きなふるさとを増やすことができるのは、とても楽しいと思います。他にも魅力的な県や市は、まだまだたくさんあります。こうして、ふるさとを増や

していくことで、最近は海外に行く若者たちが多いですが、そんな人たちでも、やっぱり日本が好きだといえるような未来が築けると思います。里帰りや旅行ができない人々も、ふるさとを大切にし、税を納めることで、貢献できるし、伝統工芸品や郷土料理を堪能することもできます。そして、自治体もよりいっそう活性化でき、地域おこしができるようになります。まさに一石二鳥です。

今の日本には、たくさんの人々の応援などの一人ひとりの意思が必要で、大切なのです。

私たちの声で、助かるところがまだまだあるでしょう。だから、私たちの気持ちをお金の形で伝えることが、現代の私たちにできることの一つです。

愛するふるさとのために、私はやれることを精一杯やりたいです。だからこそ、税には賛否両論あるものの、ふるさと納税は、日本を守るため、後世にも伝えていきたい新しい祖国の守り方だと私は思います。